

科目名 密教学特殊研究1-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通してその思想を理解し、他に伝えることができる。 テーマ：空海三部作を現代語訳する－英訳から現代日本語訳へ
	授業の概要 高木紳元・T. ドライラインの共同作業で進められてきた弘法大師三部作他の英訳が完成したのを機に、その英文テキストの現代日本語訳の試みを通して、弘法大師の教相・事相の教えを現代に通用する日本語に置き換えて理解する。思想史的な解説を通して、受講者と共に訳語の選定・吟味を行う。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 弘法大師空海の思想的展開とその思想史的意義 3. 同上 4～15. 以下、英訳テキストにもとづいて日本語訳を試みる。必要に応じて、解説を加える。
	学期
	前期
	単位数 テキスト Kukai on the Philosophy of Language (慶應義塾大学出版会)
	2 参考書・参考資料等 必要に応じて授業で指示する
担当者 学生に対する評価 レポート60%; 出席含む平常点40%	
T・ドライライン	その他 テキストに使う英訳は、パラグラフごとに漢文と英訳文が対照されている。この授業は漢文の訓詁注釈が目的ではなく、また、注釈を参照することもない。あくまでも、白文の漢文とその英訳を通して、弘法大師の文章を日本語でどう表現できるかを試みる。新たな現代語訳大師全集の試金石となろう。

科目名 密教学特殊研究1-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通してその思想を理解し、他に伝えることができる。 テーマ：空海三部作を現代語訳する－英訳から現代日本語訳へ
	授業の概要 高木紳元・T. ドライラインの共同作業で進められてきた弘法大師三部作他の英訳が完成したのを機に、その英文テキストの現代日本語訳の試みを通して、弘法大師の教相・事相の教えを現代に通用する日本語に置き換えて理解する。思想史的な解説を通して、受講者と共に訳語の選定・吟味を行う。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 弘法大師空海の思想的展開とその思想史的意義 3. 同上 4～15. 以下、英訳テキストにもとづいて日本語訳を試みる。必要に応じて、解説を加える。
	学期
	後期
	単位数 テキスト Kukai on the Philosophy of Language (慶應義塾大学出版会)
	2 参考書・参考資料等 必要に応じて授業で指示する
担当者 学生に対する評価 レポート60%; 出席含む平常点40%	
T・ドライライン	その他 テキストに使う英訳は、パラグラフごとに漢文と英訳文が対照されている。この授業は漢文の訓詁注釈が目的ではなく、また、注釈を参照することもない。あくまでも、白文の漢文とその英訳を通して、弘法大師の文章を日本語でどう表現できるかを試みる。新たな現代語訳大師全集の試金石となろう。

科目名 密教学特殊研究2-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：如何なる状況にあっても寺院の護持と興隆に寄与し、檀信徒や地域社会の教化伝道に意欲を持って、責務を果たし得る住職としての資質を身につけて頂く。 テーマ：寺院住職が菩薩道を歩むために何が必要か。
	授業の概要 真言王国の淡路島で最低な貧困の寺院に晋山して、祖師お大師さまに対する絶対の帰依のもと、大師教学、曼荼羅思想を糧に、淡路島最大の寺院に甦がえらせ、地域社会の活性化の核としての寺院に成し得た住職道50年の歩みを、体験を通して語りたい。
	授業計画 1. 「下坐に生きる」を杖言葉とする意義。 2. 「還源を思いとす」(性霊集)に秘められた真意とは。 3. 「真言は不思議なり。観誦すれば無明を除く。一事に千理を含み即身に法如を証す」(般若心経秘鍵)を体感する。 4. 「菩提心論」に基づく「自利即利他」を全ての修行の根源とする。 5. 「地域社会を等閑視して寺院の存在なし」が寺院経営の基本。 6. 「衆生縁」と「感染」こそ教化布教の原点。 7. 「自分」の意味を宇宙大で捉え直して新たな未来を開く。 8. 「護身帰命之法」と「光明真言」の深秘を体得する。 9. 「淡路島七福神霊場」と「甲子大黒天」と「妙音弁才天」をめぐる法縁。 10. 「四恩感謝」と「母念」でいのちの根を深く掘る。 11. 高野山開創の理念と「天長九年の万燈万華會」 12. 密教の源流である南天鉄塔としての「瑜祇塔」と瞑想。 13. 朝の祈りと前行で「仏心開華」をめざす。 14. 「日常五心」で心に灯をともし。 15. 「花ひらく天地いっぱい総がかり」の人生を歩む。
	学期
	前期
	単位数 テキスト 岩坪眞弘著『花ひらく天地いっぱい総がかり』
	2 参考書・参考資料等 資料はそのつど配布
担当者 学生に対する評価	
岩坪眞弘	その他 出席及びレポートにて評価する。

科目名 密教史特殊研究	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベット密教史の一断面とチベット語読解力の養成 テーマ：プトン『ユガタントラの海に入る船』の一節を読む
	授業の概要 プトンの『ユガタントラの海に入る船』はインド・チベット密教における瑜伽タントラの概要とその歴史について書かれたものである。「金剛頂経」の内容に即した概説部分と歴史の部分からなる。本講では、プトンの記述を通してインド・チベット密教史の一断面を学び、同時にチベット語の読解力を養成することを目的としている。
	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. プトン『ユガタントラの海に入る船』の内容構成 3. プトン『ユガタントラの海に入る船』の一節を読む 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 講義の総括
	学期
	後期
	単位数 テキスト プトン『ユガタントラの海に入る船』(東北蔵外no.5104) テキストには、Sata-pitaka series vol.51所収本を使用する。
	2 参考書・参考資料等 羽田野伯猷「チベット仏教受容の条件と変容の原理の一側面」 『チベット・インド学集成』第二巻所収の論文、およびチベット語辞書。
担当者 学生に対する評価 レポート60%、平常点40%	
乾仁志	その他

科目名 密教学演習 1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の著作を読解することを通じて、その思想の理解を深めることを目的とする。 テーマ：『梵字悉曇字母并釈義発軀』を読む。
	授業の概要 空海の著作『梵字悉曇字母并釈義』を、靈瑞の注釈『発軀』によって読む。受講者には、予習としてテキストの精読と、「書き下し文」および「語注」の作成を課し、口頭発表を輪読形式で行なってもらおう。
	授業計画 1. 「將釈此書……」を読む。 2. 「撰号本文……」を読む。 3. 「題額序正……」を読む。 4. 「没羅含摩……」を読む。 5. 「清淨淨深……」を読む。 6. 「爾仏地論……」を読む。 7. 「日一名阿……」を読む。 8. 「字也根本……」を読む。 9. 「本也次從……」を読む。 10. 「加字悉密……」を読む。 11. 「義女声是……」を読む。 12. 「根本音……」を読む。 13. 「又慧琳音……」を読む。 14. 「字義釈云……」を読む。 15. 「母者悉曇……」を読む。
	テキスト 統真言宗全書所収のものを、授業中に配付する。
	参考書・参考資料等 『弘法大師 空海全集』『定本 弘法大師全集』 その他、身のまわりのもの、すべてが参考資料である。
学期 前期	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表50%、期末レポート50%で評価する。
単位数 2	その他 受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する場合がある。
担当者 南 昌 宏	

科目名 密教学演習 2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の著作を読解することを通じて、その思想の理解を深めることを目的とする。 テーマ：『梵字悉曇字母并釈義発軀』を読む。
	授業の概要 空海の著作『梵字悉曇字母并釈義』を、靈瑞の注釈『発軀』によって読む。受講者には、予習としてテキストの精読と、「書き下し文」および「語注」の作成を課し、口頭発表を輪読形式で行なってもらおう。
	授業計画 1. 「鈔第六日……」を読む。 2. 「声八囀声……」を読む。 3. 「成辨諸章……」を読む。 4. 「別則摩多……」を読む。 5. 「多云母從……」を読む。 6. 「多体文通……」を読む。 7. 「亦云字母……」を読む。 8. 「第記曰三……」を読む。 9. 「并者兼也……」を読む。 10. 「人言同御……」を読む。 11. 「義釈兩名……」を読む。 12. 「梵文旨趣……」を読む。 13. 「也或可二……」を読む。 14. 「衆典之妙……」を読む。 15. 「沙門空海……」を読む。
	テキスト 授業中に配付する。
	参考書・参考資料等 『弘法大師 空海全集』『定本 弘法大師全集』 その他、身のまわりのもの、すべてが参考資料である。
学期 後期	学生に対する評価 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする（『学生手帳』参照）。 遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。 予習成果の発表50%、期末レポート50%で評価する。
単位数 2	その他 受講者の人数が少ない場合は、受講生と相談してテキストを変更する場合がある。
担当者 南 昌 宏	

科目名 密教史演習 1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海ほど伝記の多い人物はいないが、決定版はまだない。では、真の空海をつかむにはどうすればよいか。新史料の発見・発掘は期待できない。残された方法は、現存する史料を丹念に読み、みずから判断する以外にない。空海の伝記史料の精読を通して、空海伝に再検討を加える。 テーマ：弘法大師伝の研究
	授業の概要 昨年度に引き続き、承和二年（835）三月十五日付の『遺告二十五ヶ条』を徹底的に読みこみ、内容の把握・問題点の指摘を通して成立年代の解明をめざしたい。特に、現存最古の写本である金剛寺本を底本とする校訂本を作成する。
	授業計画 1. はじめに —弘法大師伝研究の現状と課題— 2. 関係史料と参考文献 3. 以下、受講者に一条ずつ割りふって、『二十五ヶ条遺告』の校訂本を作成する。 校訂作業に先立ち、底本とする金剛寺本の概要、および写本を扱ううえでの基本事項（ヲコト点・角筆点など）を講義する。 4. 第二条から順次、校訂作業の結果を報告する。 5. 最終的に、本文の校訂本とその校訂本にもとづいた訓読文、ならびに現代語訳を作成する。
	テキスト 金剛寺本『遺告二十五ヶ条』 一帖（平安中期写本）
	参考書・参考資料等 『遺告二十五ヶ条』（『定本弘法大師全集』第七巻所収本） 注釈書類（『統真言宗全書』第巻）密教文化研究所 築島 裕『平安時代訓点本論考』汲古書院 小林芳規『角筆文献研究導論』上・中・下・資料 四冊 汲古書院
学期 前期	学生に対する評価 授業への参加度（60%）と数回のレポート（40%）とを総合して評価する。
単位数 2	その他 ①先行研究に必ず目を通し、出席すること。 ②空海伝には、いまだ定説はないと考え、先行研究を徹底的に疑うこと。 ③講義では、厳正な史料の読みにもとづいた、客観的かつ建設的な発言を期待する。
担当者 武内 孝 善	

科目名 密教史演習 2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海ほど伝記の多い人物はいないが、決定版はまだない。では、真の空海をつかむにはどうすればよいか。新史料の発見・発掘は期待できない。残された方法は、現存する史料を丹念に読み、みずから判断する以外にない。空海の伝記史料の精読を通して、空海伝に再検討を加える。 テーマ：弘法大師伝の研究
	授業の概要 前期に引き続き、承和二年（835）三月十五日付の『遺告二十五ヶ条』を徹底的に読みこみ、内容の把握・問題点の指摘を通して成立年代の解明をめざしたい。特に、現存最古の写本である金剛寺本を底本とする校訂本を作成する。
	授業計画 1. 前期に引き続き、受講者に一条ずつ割りふって、『遺告二十五ヶ条』の校訂作業を進め、その結果を報告する。 2. 校訂作業とともに、底本にもとづいた訓読文、ならびに現代語訳を作成し、これらも合わせて報告する。
	テキスト 金剛寺本『遺告二十五ヶ条』 一帖（平安中期写本）
	参考書・参考資料等 『遺告二十五ヶ条』（『定本弘法大師全集』第七巻所収本） 注釈書類（『統真言宗全書』第巻）密教文化研究所 築島 裕『平安時代訓点本論考』汲古書院 小林芳規『角筆文献研究導論』上・中・下・資料 四冊 汲古書院
学期 後期	学生に対する評価 授業への参加度（60%）と数回のレポート（40%）とを総合して評価する。
単位数 2	その他 ①先行研究に必ず目を通し、出席すること。 ②空海伝には、いまだ定説はないと考え、先行研究を徹底的に疑うこと。 ③講義では、厳正な史料の読みにもとづいた、客観的かつ建設的な発言を期待する。
担当者 武内 孝 善	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：真言密教における安心論について説明することを目的とする。 テーマ：『密宗安心義章』を読む
密教講義	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
中村本然	
授業の概要	釈雲照が著した『密宗安心義章』を通して、真言密教の安心論を考えるとともに、明治期の真言宗教団の動向についても触れることにしたい。
授業計画	1. 講義内容の説明 2. 己心仏土章 3. 横壁二観章 4. 十善為本章 5. 二諦不二章 6. 三三平等章 7. 輪内浄土章 8. 不取二相章 9. 三品悉地章 10. 機類差別章 11. 結縁勝徳章 12. 顕密不同章 13. 教業甚深章 14. 総括
テキスト	『密宗安心義章』(『真言密教安心全書』上)
参考書・参考資料等	『釈雲照』全三巻
学生に対する評価	出席点20%・平常点20%・レポート60%とし、総合的に評価する。
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：チベット人が著した仏教史書に関する知識を深め、その研究方法を身につけ、読解力を養成する。 テーマ：プトゥン『インド仏教史』の研究
密教史講義1	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
奥山直司	
授業の概要	プトゥン・リンチュェントップが著した『仏教史』は、チベット撰述の仏教史書の中では最も名高く、かつ標準的なものである。本授業では、本書の読解を通じて、チベット人の構想する仏教史がどのようなものであるかを知ると共に、その成立事情、歴史観、問題点などについて考察を加えてゆく。基本的には当番制を取り、受講生の予習状況を見ながら授業を進める。
授業計画	1. ガイダンス、資料の確認と取りそろえ。 2. プトゥンの『仏教史』読解1 3. プトゥンの『仏教史』読解2 4. プトゥンの『仏教史』読解3 5. プトゥンの『仏教史』読解4 6. プトゥンの『仏教史』読解5 7. プトゥンの『仏教史』読解6 8. プトゥンの『仏教史』読解7 9. プトゥンの『仏教史』読解8 10. プトゥンの『仏教史』読解9 11. プトゥンの『仏教史』読解10 12. プトゥンの『仏教史』読解11 13. プトゥンの『仏教史』読解12 14. プトゥンの『仏教史』読解13 15. まとめ
テキスト	bDe bar gshegs pa' i bstan pa' i gsal byed: Chos kyi 'byung gnas gsung rab rin po che' i mdzod ces bya ba 参考書・参考資料等 E.Obermiller, History of Buddhism (Chos-hbyung) by Bu-ston
学生に対する評価	出席点20%、予習状況40%、授業参加状況40%
その他	十分に予習して臨んでもらいたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：チベット人が著した仏教史書に関する知識を深め、その研究方法を身につけ、読解力を養成する。 テーマ：プトゥン『インド仏教史』の研究
密教史講義2	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
奥山直司	
授業の概要	プトゥン・リンチュェントップが著した『仏教史』は、チベット撰述の仏教史書の中では最も名高く、かつ標準的なものである。本授業では、本書の読解を通じて、チベット人の構想する仏教史がどのようなものであるかを知ると共に、その成立事情、歴史観、問題点などについて考察を加えてゆく。基本的には当番制を取り、受講生の予習状況を見ながら授業を進める。
授業計画	1. ガイダンス、資料の確認と取りそろえ。 2. プトゥンの『仏教史』読解1 3. プトゥンの『仏教史』読解2 4. プトゥンの『仏教史』読解3 5. プトゥンの『仏教史』読解4 6. プトゥンの『仏教史』読解5 7. プトゥンの『仏教史』読解6 8. プトゥンの『仏教史』読解7 9. プトゥンの『仏教史』読解8 10. プトゥンの『仏教史』読解9 11. プトゥンの『仏教史』読解10 12. プトゥンの『仏教史』読解11 13. プトゥンの『仏教史』読解12 14. プトゥンの『仏教史』読解13 15. まとめ
テキスト	bDe bar gshegs pa' i bstan pa' i gsal byed: Chos kyi 'byung gnas gsung rab rin po che' i mdzod ces bya ba 参考書・参考資料等 E.Obermiller, History of Buddhism (Chos-hbyung) by Bu-ston
学生に対する評価	出席点20%、予習状況40%、授業参加状況40%
その他	十分に予習して臨んでもらいたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：われわれが日常使っていることばには、古代日本人と神との関係が隠されている場合が多い。そこで、『古事記』をはじめとして、『万葉集』や幾つかの和歌集に見出される「神」をめぐることばを抽出し、それらのルーツを探る作業を通して、古代日本における「神」をめぐることばの世界を顕在化して行く。 テーマ：古代日本における「神」をめぐることばの世界
仏教学特殊研究	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
前谷彰	
授業の概要	担当者が重要と思われることばを順次提示し、それらのことばが持っている宗教的かつ思想的背景について学生とともに考え、最終的には担当者が解説して行くことにする。
授業計画	1回、オリエンテーション 2～4回、現代の日常語に隠された神観念 5～7回、神(霊)をあらわすことば 8～10回、祭事に関することば 11～15回、言霊の世界 まとめ
テキスト	授業時に担当者が用意する。
参考書・参考資料等	必要に応じて指示・紹介する。
学生に対する評価	授業に参加する態度(意見発表等)と学期末のレポートによって評価する。
その他	

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教文献学の基礎を習得すること テーマ：サンスクリット原典 (<i>Vasubandhu's Pañcaskandhaka</i>) 講読演習</p>
仏教学演習	<p>授業の概要 釈尊（ゴータマ・ブツダ）が説き示した真理内容は、四諦説、五蘊説、そして縁起説として今に伝えられている。ブツダは覚醒体験後、その自覚内容を言葉化した時、有情/衆生の生存は苦に他ならないことを真実（「諦」）であると説示した。この説示方法は因果律に拠っており、縁起説の出発点でもある。そして、生存する存在者一般が、無常なる縁起的存在として、五グループの集結体（「五蘊」）として捉えられた。この教説を伝える諸経典（阿含経の『泡沫経』・『人経』、大乘経の『八千頌般若経』など）や諸論書（『阿毘達磨俱舍論』、『瑜伽師地論』など）を参照しつつ、世親（ヴァスバンドウ、西暦400年頃）が著した『五蘊論』をテキストとして五蘊説を考察する。</p> <p>授業計画 1. 授業で取り扱う範囲のアーガマとアビダルマ諸論書についての概説 2. (同上) 3. 授業で取り扱う範囲の大乘経と大乘論書についての概説 4. (同上) 5. ヴァスバンドウに帰せられる諸論書の概説、並びに、思想的展開の概説 6. (同上) 7. ヴァスバンドウ作『阿毘達磨俱舍論』、大乘論書の『瑜伽師地論』、並びに、アサンガ作『阿毘達磨集論』における比較分析可能なテキスト個所の解説 8. (同上) 9. (同上) 10-15. これらの手続きを踏まえた上で、『五蘊論』を精読する。 受講生による（一授業一担当の）演習発表形式を取りながら授業を展開する予定である。</p> <p>テキスト <i>Vasubandhu's Pañcaskandhaka</i>, Critically edited by Li Xuezhong and Ernst Steinkellner, Beijing · Vienna 2008, ISBN978-7-80253-033-1 / B · 59</p> <p>参考書・参考資料等 Tilmann Vetter, <i>The 'Khandha Passages' in the Vinayapitaka and the four main Nikāyas</i>, Wien 2000 など関連参考資料は、授業中に適宜プリント配布する。</p> <p>学生に対する評価 平常点（授業という学術的対話の場における発言と課題発表時におけるテキスト解説の緻密性・正確度）</p> <p>その他 古典語のサンスクリット、パーリ語、チベット語、漢語、また、現代語としてドイツ語などの語学基礎科目をすでに履修し終えていることが望ましい。</p>
学期	前期
単位数	2
担当者	室寺義仁

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド大乘仏教思想史における密教の形成をたどる。 テーマ：『華嚴経』から『大日経』へ</p>
仏教史演習	<p>授業の概要 インド大乘思想史のなかに密教が形成されていく過程を、いくつかの基本概念の形成と変遷をたどることから明らかにしていく。本年度は特に『大日経』『如来出生曼荼羅加持品』のチベット語訳講読を中心に、関連問題を論じていく。</p> <p>授業計画 序. 『華嚴経』と『大日経』 I. 誓願から三昧耶へ I. 1. 菩薩と誓願 I. 2. 菩薩道と真言門 II. 成菩提の不思議 II. 1. 如来の顕現 II. 2. 成仏秘密の境涯 III. 神変と無尽の莊嚴界 III. 1. 如来秘密 III. 2. 無尽莊嚴藏 IV. 真理顕現の諸相 IV. 1. 加持ということ IV. 2. 加持の実際 結</p> <p>テキスト 各講義時に必要な資料はプリント配布。</p> <p>参考書・参考資料等 松長有慶編、『インド密教の形成と展開』他、講時ごとに必要に応じて紹介。</p> <p>学生に対する評価 各講時における発表と論議への参加態度を50% 定期試験の成果を50% とし、合計60/100をもって合格とする。</p> <p>その他</p>
学期	前期
単位数	2
担当者	生井智紹

科目名	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：龍樹『中論』『観四諦品』の講読演習を通じて四諦説への龍樹の観点およびその中国的展開などの関連諸問題を検討する。 テーマ：四諦説とその大乘的展開</p>
仏教学講読	<p>授業の概要 初転法輪における四諦説を龍樹がどのように大乘の見地からとらえているかを原典から明らかにし、そこに詠かれる縁起観がインド中期中観派諸師、さらに天台など中国独自の思想へと展開するまでをサンスクリット原典、チベット語訳諸註釈、漢文諸論典の講読演習を通じて総合的に問題化していく。</p> <p>授業計画 序. 初転法輪 序. 大乘の観点からの縁起観 序. 『中論』『観四諦品』</p> <p>以下、テキストに沿って講読演習を進める。 進度については、受講者の読解、発表の度合いに応じて進める。</p> <p>テキスト 読解演習テキスト、必要資料を必要に応じて配布。</p> <p>参考書・参考資料等 適宜講時ごとに紹介。</p> <p>学生に対する評価 各講時における発表と論議への参加態度を50% 定期試験の成果を50% とし、合計60/100をもって合格とする。</p> <p>その他</p>
学期	後期
単位数	2
担当者	生井智紹

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の1つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。 テーマ：インド・チベット仏教戒律思想史（1）
仏教史講読 1	授業の概要 チベット仏教のサキヤ派のサキヤパンディタ（=サバン、1182 - 1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベット語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、相違点、類似点などを学ぶ。
学期	授業計画 下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習して講義に臨むこと。
前期	1. オリエンテーション 2. サバンの生涯とその作品 3. 三律儀について 4. ～7. 小乗の戒律（すなわち波羅提木叉律儀） 8. ～11. 大乘の戒（すなわち菩薩律儀） 12. ～15. 密教の戒（すなわち真言律儀）
単位数	テキスト 授業時に適宜プリントして配布する。
2	参考書・参考資料等 ① Sakya Pandita Kunga Gyaltsan: <i>A Clear Differentiation of the Three Codes</i> , transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002 ② Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : <i>sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba</i> . 『サキヤ派全書』Vol.5 No.4
担当者	学生に対する評価 藤田光寛『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学） 森 章司 編『戒律の世界』東京：溪水舎 1993年 佐藤密雄『律蔵』（=仏典講座4）大蔵出版（株） 昭和47年 など
藤田光寛	その他 期末の試験（60%）、出席（20%）、小試験（20%）によって評価する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：後期仏教（インド密教）にとって、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の思想の相違に対して、密教の立場から如何に整合性のある解釈を与えるかが大切な課題の1つであった。インド密教の総決算はこの点にあると言っても過言ではない。この問題を戒律思想の点に焦点をあてて理解する。 テーマ：インド・チベット仏教戒律思想史（2）
仏教史講読 2	授業の概要 前期に引き続き、チベット仏教のサキヤ派のサキヤパンディタ（=サバン、1182 - 1251）が著した『三律儀細別』を読む。受講生に応じて、このチベット語文献か英文解説書のいずれかを読解しながら解説し、小乗仏教と大乘仏教、タントラ仏教との三者の戒律（すなわち三律儀）の特徴、相違点、類似点などを学ぶ。
学期	授業計画 下記の文献を精読しながら解説するが、受講生には分担を決めて発表してもらうので、十分な予習が必要です。当該テキストを毎回予習して講義に臨むこと。
後期	1. オリエンテーション 2. サバンの生涯とその作品 3. 三律儀について 4. ～15. 密教の戒（すなわち真言律儀）
単位数	テキスト 授業時に適宜プリントして配布する。
2	参考書・参考資料等 ① Sakya Pandita Kunga Gyaltsan: <i>A Clear Differentiation of the Three Codes</i> , transl. by Jared Douglas Rhoton. State Univ. of New York Press, 2002 ② Sakya Pandita Kun dgah rgyal mtshan : <i>sDom pa gsum gyi rab tu dbye ba</i> . 『サキヤ派全書』Vol.5 No.4
担当者	学生に対する評価 藤田光寛『仏教徒のあり方と戒律』（高野山大学） 森 章司 編『戒律の世界』東京：溪水舎 1993年 佐藤密雄『律蔵』（=仏典講座4）大蔵出版（株） 昭和47年 など
藤田光寛	その他 期末の試験（60%）、出席（20%）、小試験（20%）によって評価する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏像の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像の造形—その姿と意味
仏教芸術の研究 1	授業の概要 仏像は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。講義では各尊の姿や手印・持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。
学期	授業計画 1. 釈迦如来 2. 薬師如来 3. 阿彌陀如来 4. 毘盧遮那仏と大日如来 5. 弥勒仏と弥勒菩薩 6. 観音菩薩 7. 変化観音～十一面観音・千手観音 8. 変化観音～不空罽索観音・馬頭観音など 9. 文殊・普賢菩薩 10. 地藏・虚空蔵菩薩 11. 不動明王 12. 愛染明王 13. 天部の守護神～四天王 14. 天部の守護神～吉祥天など 15. 天部の守護神～閻魔など
前期	テキスト 参考資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 講義中に指示する。
2	学生に対する評価 出欠席を最も重視する。 後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。
担当者	その他 仏教美術特殊講義B（後期）を履修・聴講することが望ましい。
緒方啓介	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：技法・構造を学ぶことで、仏像に親しみ正しく理解することを到達目標とする。 テーマ：仏像の造形—構造と様式
仏教芸術の研究 2	授業の概要 講義では、各時代の仏像の様式・材質・技法などの各論について概説する。
学期	授業計画 1. 様式論～飛鳥時代 2. 様式論～白鳳時代 3. 様式論～天平時代 4. 様式論～平安時代前期 5. 様式論～平安時代後期 6. 様式論～鎌倉時代（運慶様式） 7. 様式論～鎌倉時代（快慶様式） 8. 様式論～鎌倉時代（宋元風） 9. 構造・技法論～金属 10. 構造・技法論～塑像 11. 構造・技法論～脱乾漆造 12. 構造・技法論～木心乾漆造 13. 構造・技法論～木造 14. 構造・技法論～寄木造 15. 仏像の衣装
後期	テキスト 参考資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 講義中に指示する。
2	学生に対する評価 出欠席を最も重視する。後期講義終了までに各自テーマを提出し、原稿用紙10枚程度のレポートを提出する。
担当者	その他
緒方啓介	

科目名 アジア地域の宗教文化の研究	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 東南アジアの上座部仏教に伝わるヴィパッサナー瞑想について、その思想的背景と現代的な応用実践の可能性について探る。 テーマ: ヴィパッサナー瞑想の伝統と現代社会への応用可能性
	授業の概要 教材を読みながら、多角的に議論してゆきます。中盤からはパーリ語による動行や、ヴィパッサナー瞑想の実技なども取り入れてゆきます。
	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. 仏法僧の三宝 3. 戒定慧の三学 4. 「慈しみ経」を読む 5. 「大念住経」を読む 6. 「大念住経」を読む 7. 「大念住経」を読む 8. 「大念住経」を読む 9. 「大念住経」を読む 10. 悟りとは何か? 11. マインドフルネスの系譜 12. 仏教瞑想とスピリチュアリティ 13. 心理療法と仏教瞑想 14. 仏教心理学の可能性 15. ふりかえりとまとめ
	テキスト 『南方仏教基本聖典』 ウ・ウェーブラ著 仏教書林中山書房 『マインドフルネス・ストレス低減法』 ジョン・カバットジン 北大路書房
	参考書・参考資料等 『マインドフルな生き方』 クリストファー・ティットムス 産調出版 『ブッダのサイコセラピー』 M.エプスタイン 春秋社
	学生に対する評価 出席と参加態度 (30%)、期末レポート (70%) で評価する。
	その他
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 井上ウイマラ

科目名 現代社会と仏教の研究1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 宗教、特に真言密教に関する英文テキストを読むことを通じて現代社会における宗教の意味を考察する。 テーマ: 英文を通じて真言密教の文化と教えを再確認
	授業の概要 最近、真言密教に関する優秀な論文が英語で発表されている。いくつかのそのような論文を読んで、正しく和訳する上、英文でどのように真言密教の歴史・文化・教義・観法などを表現できるか、またその結果を海外布教に展開するのみならず、それによって日本の現代社会における宗教の意味を再確認する。阿字観についての論文を今回予定している。
	授業計画 1. オリエンテーション、英語読解能力を査定する 2. 英文テキストを配布して、内容を英語と日本語で講義して、講義を開始する。 3~15. 以下、英訳テキストにもとづいて和訳を試みて、内容についてディスカッションを行う。
	テキスト Nicoloff, Philip L., <i>Sacred Kōyasan</i> . をコピーで配布 Payne, Richard K., "Ajikan: Ritual and Meditation in the Shingon Tradition" をコピーで配布
	参考書・参考資料等 必要に応じて授業で指示する
	学生に対する評価 レポート60%; 出席含む平常点40%
	その他 参加型の授業で、受講生全員は毎回該当のテキストの和訳と研究を予習する。 上級の英文能力が必要。授業を日本語と英語両方で進める。
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 T・ドライトライン

科目名 現代社会と仏教の研究2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標: 宗教、特に真言密教に関する英文テキストを読むことを通じて現代社会における宗教の意味を考察する。 テーマ: 英文を通じて真言密教の文化と教えを再確認
	授業の概要 最近、真言密教に関する優秀な論文が英語で発表されている。いくつかのそのような論文を読んで、正しく和訳する上、英文でどのように真言密教の歴史・文化・教義・観法などを表現できるか、またその結果を海外布教に展開するのみならず、それによって日本の現代社会における宗教の意味を再確認する。阿字観についての論文を今回予定している。
	授業計画 1. オリエンテーション、英語読解能力を査定する 2. 英文テキストを配布して、内容を英語と日本語で講義して、講義を開始する。 3~15. 以下、英訳テキストにもとづいて和訳を試みて、内容についてディスカッションを行う。
	テキスト Nicoloff, Philip L., <i>Sacred Kōyasan</i> . をコピーで配布 Payne, Richard K., "Ajikan: Ritual and Meditation in the Shingon Tradition" をコピーで配布
	参考書・参考資料等 必要に応じて授業で指示する
	学生に対する評価 レポート60%; 出席含む平常点40%
	その他 参加型の授業で、受講生全員は毎回該当のテキストの和訳と研究を予習する。 上級の英文能力が必要。授業を日本語と英語両方で進める。
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 T・ドライトライン

科目名	教育学特殊研究
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：学校経営・管理とキャリア教育がどれだけ密接に関わっているかの理解度に焦点を当てる。 テーマ：学校経営・管理とキャリア教育
	授業の概要 本講義は高等学校教諭専修免許状を取得することを目的とした科目である。学校管理・経営とキャリア教育という一見関係のなさそうに見えるこの問題は、根幹のところ深くつながっていることを考察する。
	授業計画 1. 学校経営とはどのような営みなのか解説し考察する。(1) 2. 学校管理とはどのような営みなのか解説し考察する。(2) 3. 学校管理と組織運営の問題について考察する。(1) 4. 学校管理と組織運営の問題について考察する。(2) 5. 学校管理と組織運営の問題について考察する。(3) 6. 日本のキャリア教育について考察する。(1) 7. 日本のキャリア教育について考察する。(2) 8. 米国のキャリア教育の現状について解説する。 9. 欧州(独仏)のキャリア教育について解説する。 10. キャリア教育と学校経営・管理との関係を考察する。(1) 11. キャリア教育と学校経営・管理との関係を考察する。(2) 12. キャリア教育と学校経営・管理との関係を考察する。(3) 13. 学校管理の問題とキャリア教育、進路指導、職業指導の関係を明らかにする。 14. 学校管理の問題とキャリア教育、真の指導、職業指導の関係を考察する。 15. 総括講義
	テキスト なし、必要に応じて資料を配布する。
学期	集中
単位数	2
担当者	伊藤一雄
参考書・参考資料等	伊藤一雄著『職業と人間形成の社会学』法律文化社 伊藤一雄他著『新・専門高校の国際比較』法律文化社
学生に対する評価	講義内容に対する考察度で判断する。課題レポート(70)、講義参加(30)
その他	教職関係科目を履修していることが望ましい。

科目名	仏教と文化
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代社会の抱える「生命」を巡る諸問題を、ブッダの教え・大師の教えの基本に立ち返って見据え直し、自ら思索を展開するための新たな視座を見出すこと テーマ：宗教者の倫理と平和を巡る諸問題、「無縁死」と葬送儀礼を巡る諸問題
	授業の概要 受講生それぞれの問題意識を出発点として、ディスカッションを通して焦点を絞り込みながら、受講生自らの思索を深めて行くことを目指す。受講生から挙げたテーマについての受講生によるパート発表と、その内容に応じた諸資料を提供した上でのコロッキウム(学術的対話)によって、当該授業は構成される予定である。
	授業計画 1. 導入 2. ブッダの教えに見る基本的生命観について 3. 大乘仏教における基本的生命観について 4. 大師の教えに見る基本的生命観について 5. 宗教者の倫理と平和を巡る諸論点について 6. (同上) 7. 受講生によるプレゼンテーション(1) 8. (同上) 9. 「無縁死」と葬送儀礼を巡る諸論点について 10. (同上) 11. 受講生によるプレゼンテーション(2) 12. (同上) 13. 「無縁社会」や「孤族」なる造語が生まれた現代社会における寺院の「公共性」について 14. まとめ 15. 学年末試験
	テキスト 適宜、テキストとして用いる学術書や原典資料をコピー配布する。
学期	前期
単位数	2
担当者	室寺義仁
参考書・参考資料等	『無縁社会』(文芸春秋2010年)などの書籍を始めとして、新聞報道記事を適宜紹介する。
学生に対する評価	学期末のレポート(60%)と、授業という学術的対話の場におけるプレゼンテーションの内容(40%)によって評価する。
その他	

科目名	密教課題演習A-1
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の伝統文化の形成と展開に密教がどのような役割を果たしたかを理解し、さらに論文作成のためのノウハウを身につける。 テーマ：密教と日本の伝統文化
	授業の概要 後述の阿部龍一教授の著作と一緒に読みながら、日本の伝統文化の形成と展開に密教がどのような役割を果たしたかについて考察を加える。あわせて受講生による研究発表を含めた、修士論文作成のための指導を行う。
	授業計画 1. イントロダクション 2. テキストの関連個所の会読 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 修士論文作成に向けての指導 7. テキストの関連個所の会読 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 修士論文関連の研究発表 12. テキストの関連個所の会読 13. 同上 14. 同上 15. まとめ
	テキスト R.Abe, <i>The Weaving Mantra:Kukai and the Construction of Esoteric Buddhist Discourse.</i>
学期	前期
単位数	2
担当者	奥山直司
参考書・参考資料等	教室で必要に応じて指示する。
学生に対する評価	出席30%、予習状況30%、研究発表40%
その他	十分に予習をして授業に臨んでもらいたい。

科目名	密教課題演習A-2
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の伝統文化の形成と展開に日本の伝統文化の形成と展開に密教がどのような影響を与えているかを理解する。 テーマ：密教と日本の伝統文化
	授業の概要 後述の阿部龍一教授の著作を読みながら、日本の伝統文化の形成と展開に密教がどのような役割を果たしたかを考える。合わせて修士論文作成のための指導と受講生による研究発表を行なう。
	授業計画 1. イントロダクション 2. テキストの関連個所の会読 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 修士論文作成に向けての指導 7. テキストの関連個所の会読 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 修士論文関連の研究発表 12. テキストの関連個所の会読 13. 同上 14. 同上 15. まとめ
	テキスト R.Abe, <i>The Weaving Mantra:Kukai and the Construction of Esoteric Buddhist Discourse.</i>
学期	後期
単位数	2
担当者	奥山直司
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	出席30%、予習状況30%、研究発表40%
その他	十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名 密教課題演習B-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教思想の現代的意義を考えていきたい テーマ：密教思想と現代	
	授業の概要 密教思想の現代的意義を考えていきたい。それを踏まえて修士論文のテーマ、研究の進め方、書き方等を指導する。	
	授業計画 1. オリエンテーション 2. テーマの選定 3. 資料蒐集 4. 資料蒐集 5. 先行研究の分析と批判 6. 先行研究の分析と批判 7. 研究の中間発表 8. 研究の中間発表 9. 目次の作成 10. 研究発表 11. 研究発表 12. レポート作成 13. レポート作成 14. レポート作成 15. まとめ	
	学期	
	前期	
	単位数	
	2	
	担当者	
	佐藤隆彦	学生に対する評価 期末レポート70%、出席20%、演習発表10%
		その他

科目名 密教課題演習B-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教思想の現代的意義を考えていきたい テーマ：密教思想と現代	
	授業の概要 前期の講義を踏まえて、講義と演習討論形式を使い分けながら個別指導をおこなう。	
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 研究発表 3. 研究発表 4. 研究発表 5. 研究発表 6. 研究発表 7. 研究発表 8. 研究発表 9. 研究発表 10. 研究発表 11. 研究発表 12. 研究発表 13. 研究発表 14. 研究発表 15. まとめ	
	学期	
	後期	
	単位数	
	2	
	担当者	
	佐藤隆彦	学生に対する評価 期末レポート70%、出席20%、演習発表10%
		その他

科目名 密教課題演習C-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海が体系化した真言密教思想の全体像を把握することを目的とする。 テーマ：空海思想の入門書を読む	
	授業の概要 いま一度原点に戻って、空海が体系化した真言密教の全体像を把握するために、勝又俊教師の著作により、空海密教の根本の理解に努める。	
	授業計画 テキストにしたがい、毎週一章ずつ要約し読み進める。 1. 空海の生涯と思想 2. 空海における自心仏の思想 3. 空海における本覚思想とその源流 4. 密教の受容とその日本的展開 5. 空海の顕密差別思想とその展開 6. 空海の戒律観 7. 空海の菩提心観とその思想的源流 8. 即身成仏と大直道 9. 十住心思想の成立過程とその背景思想 10. 空海と曼荼羅 11. 空海の曼荼羅思想 12. 面部不二思想の形成 13. 四恩思想の諸形態 14. 空海と仏事法会 15. 最澄の密教学修と密教観	
	学期	
	前期	
	単位数	
	2	
	担当者	
	武内孝善	学生に対する評価 毎時間の要旨発表(80%)と学期末のレポート(20%)とを総合して評価する。
		その他 ①空海の著作を座右におき、常に参照しつつ読み進めてください。

科目名 密教課題演習C-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の密教思想のなか、声字実相思想の把握を目的とする。 テーマ：『声字実相義』を読む	
	授業の概要 『声字実相義』を精読し現代語訳を作成することを通して、空海が体系化した真言密教の全体像と声字実相思想との連関を探り、修士論文を書き上げる。	
	授業計画 『定本弘法大師全集』所収の『声字実相義』を精読し現代語訳を作成する。	
	学期	
	後期	
	単位数	
	2	
	担当者	
	武内孝善	学生に対する評価 毎時間の要旨発表(80%)と学期末のレポート(20%)とを総合して評価する。
		その他

科目名 密教課題演習D-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：それぞれの修士論文を作成する。 テーマ：それぞれの修士論文を作成する上で、その目的を達成するための個別指導を行う。
	授業の概要 修士論文作成にあたっての注意事項について個別指導を行う。
	授業計画 それぞれの修士論文の内容に応じて個別指導を行う。
	学期
	前期
	単位数 2
担当者	テキスト 個別に必要なテキストを選定する。
	参考書・参考資料等 個別に必要なに応じて紹介する。
前谷彰	学生に対する評価 課題をこなす意欲と能力によって評価する。
	その他

科目名 密教課題演習D-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：それぞれの修士論文を作成する。 テーマ：それぞれの修士論文を作成する上で、その目的を達成するための個別指導を行う。
	授業の概要 修士論文作成にあたっての注意事項について個別指導を行う。
	授業計画 それぞれの修士論文の内容に応じて個別指導を行う。
	学期
	後期
	単位数 2
担当者	テキスト 個別に必要なテキストを選定する。
	参考書・参考資料等 個別に必要なに応じて紹介する。
前谷彰	学生に対する評価 課題をこなす意欲と能力によって評価する。
	その他

科目名 事相研究I-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
	授業の概要 『引導著作法（二巻疏）』を基に、引導作法と葬儀に関する知識の習得を目的とする。
	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. } 4. } 5. } 6. } 7. } 8. } 9. } 『引導著作法（二巻疏）』の解説 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 15. }
	学期
	前期
	単位数 2
担当者	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
齋藤天譽	学生に対する評価 出席重視
	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）

科目名 事相研究I-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
	授業計画 1. } 2. } 3. } 『引導著作法（二巻疏）』の解説 4. } 導師と職衆の心得 5. } 高野山の寺家の葬儀 6. } 戒名について 7. } 葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等） 8. } 葬儀に関する質疑応答 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 15. }
	学期
	後期
	単位数 2
担当者	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂 大栗道榮 編集『引導作法』高野山出版社
	参考書・参考資料等 授業の中で随時、紹介します。
齋藤天譽	学生に対する評価 出席重視
	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名 事相研究Ⅱ-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中院流における諸尊法について詳しく知ることを目標とする。 テーマ：中院流三十三尊の研究	
	授業の概要 中院流三十三尊、中院流三十三尊開書の講読を通して中院流三十三尊法の特徴を解明したい。	
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 中院流について 3. 各流派の諸尊法 4. 『中院流三十三尊開書』講読 5. 『中院流三十三尊開書』講読 6. 『中院流三十三尊開書』講読 7. 『中院流三十三尊開書』講読 8. 『中院流三十三尊開書』講読 9. 『中院流三十三尊開書』講読 10. 『中院流三十三尊開書』講読 11. 『中院流三十三尊開書』講読 12. 『中院流三十三尊開書』講読 13. 『中院流三十三尊開書』講読 14. 『中院流三十三尊開書』講読 15. まとめ	
	学期	
	前期	
	単位数	2
	担当者	佐藤隆彦
	テキスト 『中院流三十三尊』（『中院流聖教』所収） 『中院流三十三尊開書』（八葉学会刊）	
	参考書・参考資料等 上田靈城『真言密教事相概説』四度部	
	学生に対する評価 期末レポート70パーセント、出席20パーセント、演習発表10パーセント 担当箇所のレポートを作成すること。 その他 准頂修了者のみに受講を許可する。加行後期修了者は担当者と相談のこと。	

科目名 事相研究Ⅱ-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中院流における諸尊法について詳しく知ることを目標とする。 テーマ：中院流三十三尊の研究	
	授業の概要 中院流三十三尊、中院流三十三尊開書の講読を通して中院流三十三尊法の特徴を解明したい。	
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 前期の復習 3. 『中院流三十三尊開書』講読 4. 『中院流三十三尊開書』講読 5. 『中院流三十三尊開書』講読 6. 『中院流三十三尊開書』講読 7. 『中院流三十三尊開書』講読 8. 『中院流三十三尊開書』講読 9. 『中院流三十三尊開書』講読 10. 『中院流三十三尊開書』講読 11. 『中院流三十三尊開書』講読 12. 『中院流三十三尊開書』講読 13. 『中院流三十三尊開書』講読 14. 『中院流三十三尊開書』講読 15. まとめ	
	学期	
	後期	
	単位数	2
	担当者	佐藤隆彦
	テキスト 『中院流三十三尊』（『中院流聖教』所収） 『中院流三十三尊開書』（八葉学会刊）	
	参考書・参考資料等 上田靈城『真言密教事相概説』四度部	
	学生に対する評価 期末レポート70パーセント、出席20パーセント、演習発表10パーセント 担当箇所のレポートを作成すること。 その他 准頂修了者のみに受講を許可する。加行後期修了者は担当者と相談のこと。	

科目名 密教特殊演習A-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベットの成就法関係文献の読解力を養うと同時に、文献操作と論文作成の訓練を行う。 テーマ：インド・チベットの成就法を読む	
	授業の概要 成就法はインド密教の中で開発され、チベットでも盛んに修された行法の一つである。それはまた仏教図像学の重要な資料でもある。この授業では、サンスクリット語、チベット語の資料を用いて、インド・チベットの成就法関係文献の読解と分析を行う。基本的には当番制を取り、受講生の予習状況を見ながら授業を進める。前期はインドで成立した成就法を扱う。	
	授業計画 1. ガイダンス、資料の確認と取りそろえ。 2. インド密教の成就法の読解1 3. インド密教の成就法の読解2 4. インド密教の成就法の読解3 5. インド密教の成就法の読解4 6. インド密教の成就法の読解5 7. インド密教の成就法の読解6 8. インド密教の成就法の読解7 9. インド密教の成就法の読解8 10. インド密教の成就法の読解9 11. インド密教の成就法の読解10 12. インド密教の成就法の読解11 13. インド密教の成就法の読解12 14. インド密教の成就法の読解13 15. まとめ	
	学期	
	前期	
	単位数	2
	担当者	奥山直司
	テキスト B.Bhattacharyya ed., <i>Sādhnamālā</i> , 2 vols.	
	参考書・参考資料等 教室で指示する。	
	学生に対する評価 出席20%、予習状況40%、授業参加状況40% その他 十分に予習して授業に臨んでもらいたい。	

科目名 密教特殊演習A-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベットの成就法関係文献の読解力を養うと同時に、文献操作と論文作成の訓練を行う。 テーマ：インド・チベットの成就法を読む	
	授業の概要 成就法はインド密教の中で開発され、チベットでも盛んに修された行法の一つである。それはまた仏教図像学の重要な資料でもある。この授業では、サンスクリット語、チベット語の資料を用いて、インド・チベットの成就法関係文献の読解と分析を行う。基本的には当番制を取り、受講生の予習状況を見ながら授業を進める。後期はチベット撰述の成就法を扱う。	
	授業計画 1. ガイダンス、資料の確認と取りそろえ。 2. チベット撰述の成就法の読解1 3. チベット撰述の成就法の読解2 4. チベット撰述の成就法の読解3 5. チベット撰述の成就法の読解4 6. チベット撰述の成就法の読解5 7. チベット撰述の成就法の読解6 8. チベット撰述の成就法の読解7 9. チベット撰述の成就法の読解8 10. チベット撰述の成就法の読解9 11. チベット撰述の成就法の読解10 12. チベット撰述の成就法の読解11 13. チベット撰述の成就法の読解12 14. チベット撰述の成就法の読解13 15. まとめ	
	学期	
	後期	
	単位数	2
	担当者	奥山直司
	テキスト 高野山大学図書館所蔵のサキャ派の成就法関係文献	
	参考書・参考資料等 教室で指示する。	
	学生に対する評価 出席20%、予習状況40%、授業参加状況40% その他 十分に予習して授業に臨んでもらいたい。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『釈摩訶衍論』について把握することと、この論が真言教 学に及ぼした影響について究明することを目的とする。 テーマ：『釈摩訶衍論自鈔』の研究
密教特殊演習B-1	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
中村本然	
	授業の概要 本講義は、博士課程の受講者のための演習である。 まず『釈摩訶衍論』やその本論である『大乘起信論』に関する先行 研究を蒐集・精査することにより、研究とするテーマの現状や課題に ついて確認することからはじめる。 妙瑞（1696 - 1764）に『釈摩訶衍論自鈔』については詳細に検証す る。
	授業計画 受講者には、毎時間、以下のような報告を課題とする。 ①先行研究の調査報告 ②『釈摩訶衍論自鈔』の研究報告
	テキスト 妙瑞（1696 - 1764）著『釈摩訶衍論自鈔』『真言宗全書』第7巻
	参考書・参考資料等 講義時に指示する。
	学生に対する評価 講義での発表50%、レポート50%として評価する
	その他 研究の成果を、学外の学会で発表するとともに、論文として提出す ることを希望する

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『釈摩訶衍論』について把握することと、この論が真言教 学に及ぼした影響について究明することを目的とする。 テーマ：『釈摩訶衍論自鈔』の研究
密教特殊演習B-2	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
中村本然	
	授業の概要 本講義は、博士課程の受講者のための演習である。 まず『釈摩訶衍論』やその本論である『大乘起信論』に関する先行 研究を蒐集・精査することにより、研究とするテーマの現状や課題に ついて確認することからはじめる。 妙瑞（1696 - 1764）に『釈摩訶衍論自鈔』については詳細に検証す る。
	授業計画 受講者には、毎時間、以下のような報告を課題とする。 ①先行研究の調査報告 ②『釈摩訶衍論自鈔』の研究報告
	テキスト 妙瑞（1696 - 1764）著『釈摩訶衍論自鈔』『真言宗全書』第7巻
	参考書・参考資料等 講義時に指示する。
	学生に対する評価 講義での発表50%、レポート50%として評価する
	その他 研究の成果を、学外の学会で発表するとともに、論文として提出す ることを希望する

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教文献学の基礎を習得すること テーマ：三経義疏の文献学的考察
仏教特殊演習A-1	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
室寺義仁	
	授業の概要 聖徳太子の一連の著作とされる三経義疏に対する文献学的考察を、 「特演」として展開する。
	授業計画 1. 「特演」受講生による研究度合の進展に沿って、研究指導を行う。 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.
	テキスト 三経義疏に関連するすべての一次資料
	参考書・参考資料等 三経義疏に関連するすべての二次資料
	学生に対する評価 全国学会での研究発表成果によって判断する
	その他 当該授業テーマに興味・関心を抱く学生諸君の自由聴講を認めます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教文献学の基礎を習得すること テーマ：三経義疏の文献学的考察
仏教特殊演習A-2	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
室寺義仁	
	授業の概要 前期に同様
	授業計画 1. 前期に引き続き研究指導を行う。 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.
	テキスト 前期に同じ
	参考書・参考資料等 前期に同じ
	学生に対する評価 前期に同じ
	その他 前期に同じ